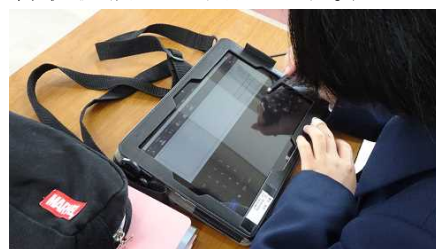


ICT・全国学テを活用した授業

10月28日(水)に3年A組で国語の研究授業を行いました。授業のめあてを「自分の考えが読み手に効果的に伝わるように説明し、具体例を加えて書く。」とし、俳句の空欄部分に当てはまる語句を選び、選んだ理由を説明し、具体例を書き加えるという内容でした。(この問題は、実施されなかった今年の全国学力・学習状況調査の問題です。)

卒業に こぼれる涙 と
A ほろほろ
B ぼろぼろ
C ぽろぽろ



今回の授業では、ICTを活用することで、興味をもって活動できたり、生徒たちが選択したものや記入した内容が共有できたりと活用するメリットが感じられました。また、タブレットの操作に関してはICTサポーターが説明し、授業が効率的に進められていました。

【生徒の考え】

「ほろほろ」や「ぽろぽろ」などとは違い、卒業式は多くの涙を流すという印象が合うと思い、「ぼろぼろ」にした。今までの学校での生活や思い出に感嘆し、涙が溢れ出すようなイメージがあるから。

保護者のみなさんならどの言葉を選ばれるでしょうか？ご家庭で親子で選び、理由について話し合ってみてはどうでしょう。

地域ボランティアによる読み聞かせ

11月4日(水)に今年度初となる地域ボランティアによる読み聞かせを実施しました。

1Aは多田純子さんが「ぜつぼうの濁点」を、1Bは森本博子さんが「半月村」を、2Aは遠藤信巳さんが「じごくけんぶつ」を、3Aは松若英理子さんが「自転車がほしい」を、C・D組は、播本ひろ子さんが「たくさんのドア」を読み聞かせてくださいました。

「生徒たちとは、こども園からの付き合いだから、構えることなく受け入れてくれる」、「読み聞かせの前には、テーマが伝わるように練習している」と教えてくださいました。このようなお話を伺うと地域の方々に支えられていることを実感します。今後、生徒たちが地域に対して貢献できるように取り組んでいきたいと思っております。

